

「ロイロノート」を活用した外国語の実践(5年)

むら おか み な こ
村岡美奈子 東京都世田谷区立池之上小学校 指導教諭

コロナ禍において、小学校では1人1台の端末環境が急速に実現していきました。その中で、世田谷区では、「ロイロノート・スクール」(以下、ロイロノート)という授業支援アプリを活用しています。導入された当初は、名前も聞いたことがなく、何をどう使うのかもわからないものでしたので、使いこなせるか不安でした。ところが、実際に使い始めると、さまざまな教科や学校生活の場面で活用することができています。

今回は、5年生の外国語の授業ではどのようにロイロノートを活用しているかをご紹介します。単元は、『Here We Go!』5のUnit6 I want to go to Italy. です。

十分に英語を聞く活動を

以下が、大まかな単元指導計画です。

時	単元指導計画
1	七大州、三大洋の言い方を知る。
2	日本と同じ緯度や経度の国を探す。
3	赤道にある国を探す。
4	面積の大きな国、小さな国を探す。
5	学区域のレストランマップを作る。
6	行きたい国を紹介する方法を知る。
7	行きたい国を紹介する練習をする。
8	行きたい国を紹介する。

この単元では、第6～8時にロイロノートを活用し、自分が行きたい国を紹介するプレゼンテーション活動を行います。

ここで大事なことは、プレゼン活動の前に、児童に英語を十分に聞かせることです。さまざまな活動を通して、第5時までに十分に英語を聞き、表現に慣れ親しむことで、英語のプレゼンのハードルがぐっと低いものとなるのです。

児童の創意工夫を生かして

第6時に、まずは教師がロイロノートを使って自分の行きたい国を紹介します。このアプリでは、テキスト機能を使うと、カードに文字を入力したり、画像を挿入したりすることができます。さらに、各カードを矢印でつなげてスライドにすることもできますので、作ったものを見せながら紹介することもできます。

教師が紹介してみせた後、まずは児童に、「行きたい国を紹介する」という活動を行うことを伝えました。第5時までに世界各国のことを英語で十分に聞いている児童は、「もう決めてるんだ!」「どっちにするか迷うなあ」など、活動への意欲をしっかりと高めているようでした。

次に、ロイロノートを使って発表原稿(スライド)を作ることを伝えます。教師が自分の行きたい国を紹介したスライドが、原稿の基本の型となっています。



発表に使用するスライド(基本の型)。

()の部分に文字を入力することで、簡単にスライドを作ることができるよう、この基本の型の6枚のカードを児童のロイロノートに送ります。受け取った児童は、早速、スライドを作り始めました。教師よりもiPadが使いこなせる児童は、文字の太さやフォント、色を変えたり、手描きペンで模様を付けたりしながら、スムーズに作っていきます。英語を書くことがまだまだ難しい児童にとっては、キーボードによる入力のほうが断然やりやすいのです。本校では、iPadを筆記用具のように使ってほしいという考えから、児童に端末を毎日持ち帰らせているので、授業中に作り切れなかったスライドの続きは家で考えることができます。

自信をもって発表するために

児童が作ったスライドは、ロイロノート上の「提出箱」とよばれるフォルダに、期日までに提出してもらいました。学級の児童の提出スライドが一覧になっているので、教師には誰が提出しているか一目瞭然でわかりますし、提出されたものからどんどん添削することができます。

第7時では、発表の練習をしたり、カードを

修正したりします。以前は、この時間になるとあちらこちらから「先生!」「先生!」と呼ばれ、個別対応に追われていました。しかし、今回は「音声録音」の機能を活用することで、これが一気に解決しました。ロイロノートでは、一枚一枚のカードに音声を付けることができるのです。発表時の音声入りの教師のスライドを事前に児童に送っているため、児童はそれを聞きながら、個人で練習を行うことができます。

第8時では、児童一人一人が発表を行います。活動後、児童は「英語で話せてうれしかった」「調べたら、もっとその国に行きたい気持ちが強くなった」「友達の行きたい国にも行きたくなった」などと振り返っていました。



スライドを使ったプレゼンテーション活動の様子。

児童にとって、まだ使い慣れない英語でプレゼンを行うことは至難の業です。しかし、その苦手意識をぐっと低くするためにロイロノートのようなアプリを活用することで、児童が英語を使って自分の考えを表現しやすくなったように思います。何よりも、プレゼンテーション活動の前に、その単元のキーワードやキーセンテンスとなる英語を十分に聞かせる時間を取ることが、大切だと考えています。